

平成 26 年大磯町議会

3 月定例会総括質疑（2 月 26 日）

質問議員	質 問 事 項
1 1 番 高橋 英俊議員 (40 分) 9:05～9:45	1. 第 4 章「心豊かな人を育てるまちづくり」 大磯町教育振興基本計画についての考えは。 国の教育振興基本計画は、教育基本法(平成 18 年法律第 20 号)に示された理念の実現と、我が国の教育振興に関する施策の総合的、計画的な推進を図るため、同法第 17 条第 1 項に基づき政府として策定された計画と承知している。現在、平成 25 年 6 月 14 日付けで、第 2 期の教育振興基本計画を閣議決定され、計画年度は平成 25 年度から平成 29 年度である。 さて、大磯町では国の教育振興基本計画をどのようにとらえているのか。また、平成 26 年度の町教育行政にどのように生かしていくのか所見を伺う。 2. 第 5 章「個性と魅力と活力のあるまちづくり」 町道大磯高麗 1 号線(山王町松並木敷)整備活用計画(案)の進捗は。 平成 24 年 3 月 22 日、総務建設常任委員会協議会に示された町道大磯高麗 1 号線(山王町松並木敷)整備活用計画の現状と今後の進め方、スケジュールなど、平成 26 年度の中でどのように考えているのか具体的に伺う。
2 7 番 吉川 重雄議員 (40 分) 9:45～10:25	1. 町の政策が卓話集会を通して町民にお知らせできていないと言っているが、卓話集会を今後も継続していくとのことである。町民に分かってもらう他の方法を考えていないのか。 2. おあしす 24 健康おおいぞ事業をスタートして 4 年目に入るが、結果がどのように出てきたのか。政治は結果である。効果が出てきたことを数字で示してほしいが。 3. 少子高齢化に伴い、社会は大きな変化を求められている中で、まだまだ先の見えない観光だけで、行財政改革の中心的なものになると考えられるか。実践的で積極的な即戦力となる具体的な取り組みが見えないが、観光だけでこの町の財政的基盤づくりができると本当に考えているのか。 4. 平成 26 年度予算は結果が出る予算配分であると胸を張って言い切れるのか。「健康」「予防」「介護予防」に力を注いでいくと言っているが、具体的な事業の予算配分ができたと言い切れるのか。 あたりのよい言葉だけで少子高齢化社会を切り開く行政改革ができると、自信を持って言い切れるのかを問う。

3 3 番 渡辺 順子議員 (40 分) 10:40～11:20	平成 26 年度予算に対する総括質疑を総合計画の 5 つのまちづくりの目標に沿って質問する。 第 1 章「安全で安心なあたたかみのあるまちづくり」 障がい者福祉計画・高齢者福祉計画を充実した内容に改訂するための方策は。 第 2 章「町民の力や知恵が集まるまちづくり」 (1) 自治基本条例に基づく「参画と協働によるまちづくり」を推進するための仕組みづくりの考えは。 (2) 公共施設の老朽化に伴う大規模改修や改築計画の進め方は。 第 3 章「人と自然が共生する循環のまちづくり」 公共下水道整備と合併処理浄化槽設置計画の進め方は。 第 4 章「心豊かな人を育てるまちづくり」 学校教育における子どもの体力向上・健康体力づくりのための食育の考え方は。 第 5 章「個性と魅力と活力あるまちづくり」 観光行政を推進する財源確保は。
4 1 3 番 鈴木 京子議員 (40 分) 11:20～12:00	1. 平成 26 年度は消費税の増税をはじめ、国の制度改悪により国民生活は苦しくなる。町は町民生活を守る大切な役割を担うが、国保税の増税など、町民負担増の予算と考える。所得の低い町民への対策はあるか。 2. 新しい駐輪場建設に 5 億円を計上したが、金額は妥当か。また、開かれた町政運営によって決定したとは考え難い。再考の余地はないか。 3. 観光に力を入れるとしているが、当初予算に新たな施策として計上した総額は。また、平成 25 年度の 1,000 万円かけた調査委託の結果の反映の見通しは。旧吉田茂邸再建後の費用の見通しはたっているか。 4. 国府本郷西小磯 1 号線（マリア道）を推進するが、26 年度の進捗をどう考えるか。 5. 子育て、教育分野では一定の前進がみられるが、従前の事業の更新を除き、新規の町独自施策の概要と総額は。

5 11番 三澤 龍夫議員 (40分) 13:00～13:40	1. 「卓話集会」を精神的基盤にしているとあるが、卓話集会で出された要望等がどれだけ実現されているか。また、その検証はされているかを問う。 2. 「観光の核づくり事業」において、全 19 団体が一つの目的に力を集約した時、大磯は生まれ変わり、新たな変化、飛躍があるものと確信しているとあるが、観光でのまちづくりについて問う。 3. 「郷土資料館」がリニューアルされるが、この際、大磯町の文化、芸術の中心としての位置づけも必要だと思うが、考えを問う。
6 8番 高橋 富美子議員 (40分) 13:40～14:20	1. 平成 26 年度の施政方針における力点として、健康、福祉への取り組みと共に「若い世代の方が子育てをこの大磯の地でしたいと思うまちづくりを目指す」とのことだった。若い世代の方が大磯を子育ての町として選んでもらえるための目玉となる施策とは。 2. 平成 26 年度は教育にも力点を置くとのことで「子どもへの教育」として、確かな学力を身につけ、心豊かで活力に満ちた大人へと成長できるようにしたいとある。「確かな学力」を子ども達に身につけさせる教育環境をどのように実現させていくのか。 3. 施政方針の第 4 章「心豊かな人を育てるまちづくり」の生涯学習として、被災地訪問体験学習を行うとあるが、平成 24 年度 12 月補正予算の修正内容は汲みされているか。 また、被災地体験学習で得た児童・生徒の学びをどのように広め、発展させていくのか。

6 名 2 2 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。